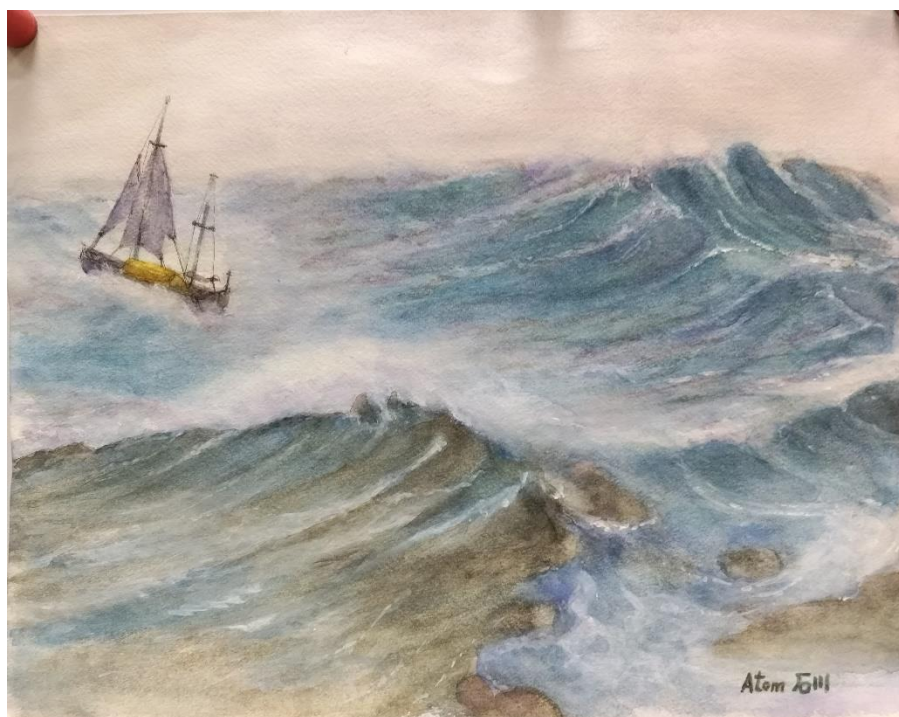




池川正人（水墨）「現役時代に訪れたサンフランシスコ（Golden Gate Bridge）を回想」



石川良教1（水彩）

「ネットで様々な怒涛を調査して、ターナーの作品をイメージしつつ想像で描いてみた。将来のために良い勉強になった。」



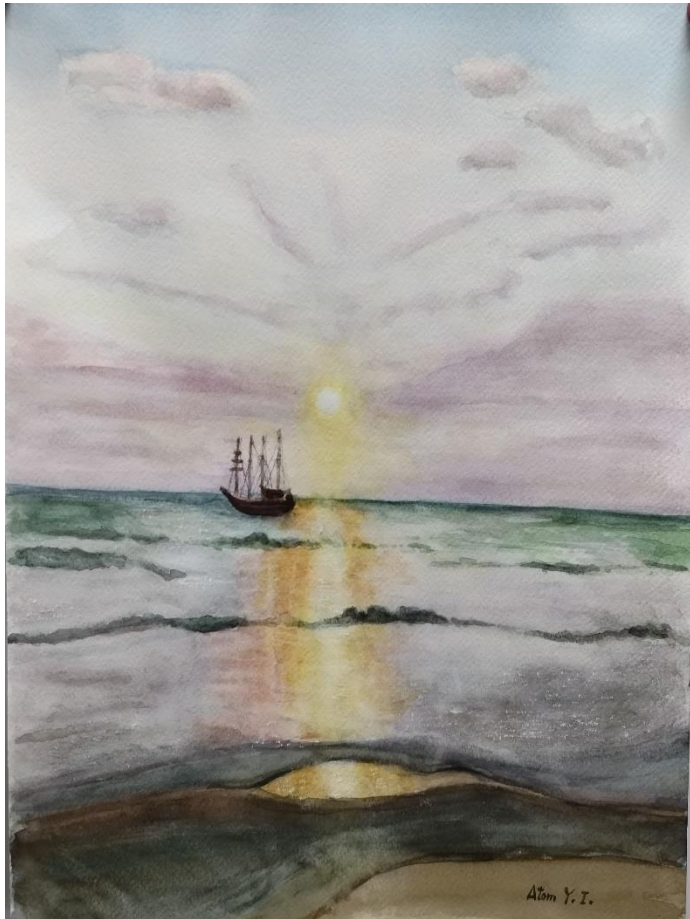
石川良教2 (水彩)

「イタリアのベネチアの代表的な風景です。ネットで調べて自分なりに描いてみた。」



石川良教3 (水彩)

「マレーシアの田舎風景です。家から湖に直接出られる海べりの村の風景」

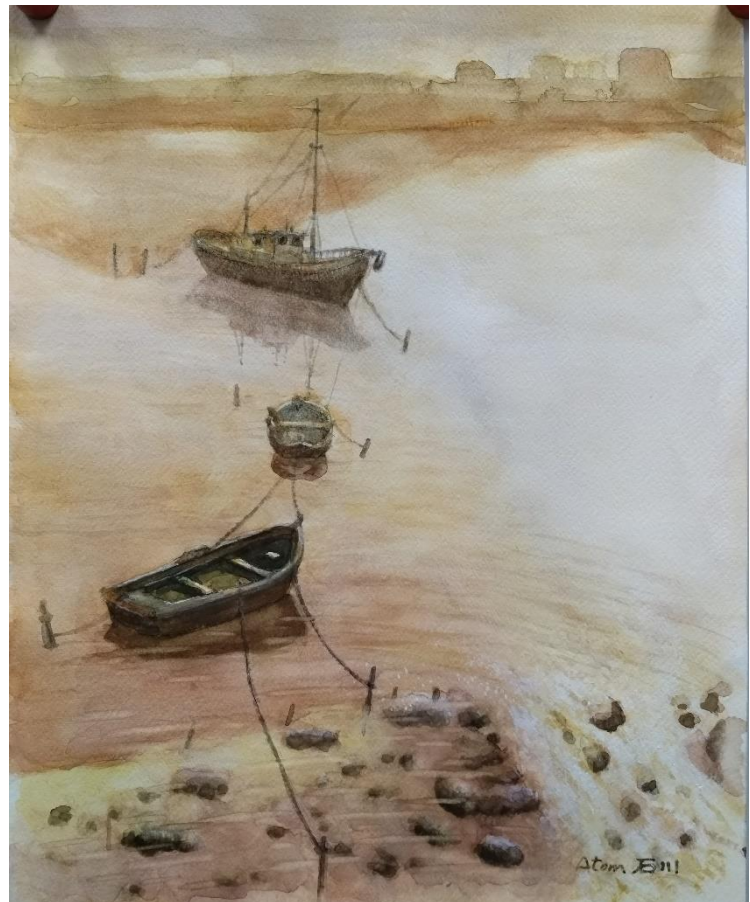


石川良教4（水彩）

「太陽が海に沈む一瞬の光の筋を描いてみた。海に差す光と空に差す光の違いを意識しながら描いた」

石川良教5（水彩）

「最近脳裏に浮かぶ風景を想像しながら描くことが多い、コロナで外出できなかったためだ。どんどんイメージーションが広がる。コロナが与えてくれたチャンスを利用した」





島川修子1 (油彩)「八ヶ岳連峰に登山した時の感動を描いた」



島川修子2 (油彩)「思い出の自転車を主役に据えて」



喜田祐三 1 (油彩)「シンガポールゲイラン通り、秋の展覧会の作品のエスキース」



喜田祐三 2 (油彩)「英虞湾風景、秋の展覧会の作品のエスキース」



喜田祐三 3 (油彩)「南国良夜、シンガポールの夜景、秋の展覧会の作品のエスキース」

以上